

科目名	日本語概説	英語科目名	Outline of Japanese language	
開講年度・学期	平成 27 度・前期	対象学科・専攻・学年	全専攻 1 年	
授業形態	講義	必修 or 選択	選択	
単位数	2 単位	単位種類	学修単位 (15+30) h	
担当教員	柴田 美由紀	居室 (もしくは所属)	専攻科棟 4 F	
電話	内線 172	E-mail	Miyuki-s@小山高専ドメイン名	
授業の到達目標	授業到達目標との対応			
		小山高専の教育方針	学習・教育到達目標 (JABEE)	JABEE 基準
	1. 専攻科生・社会人として必要な日本語表現法の知識を獲得し、それらを場面に応じて運用できる。	⑥	E	(f)
	2. 実践的訓練を通じて、口頭や文章における的確で論理的な表現力を身につけ、積極的に提案し説得できる。	⑥	E	(f)
3. チームを組んでディベートやディスカッションに取り組むことにより、協調しながら計画的に物事を進めることができる。	②	B	(i)	
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法				
達成目標 1-3 : 提出物、発表によって評価する。				
評価方法				
提出物 50%程度、発表 50%程度で評価する。				
授業内容		授業内容に対する自学自習項目		自学自習時間
1. ガイダンス、専攻科用【STWPIV】教材について		表現力の自己診断、作文トレーニングの予習		4
2. 作文トレーニング①事実と意見		ディベートの資料収集と整理、作トレの予復習		4
3. 作文トレーニング②文の3原則、正確な文		ディベートのレポート作成、作トレの予復習		4
4. 作文トレーニング③明解な文、パネルディスカッション…準備		ディスカッションの資料収集と整理、作トレの予復習		4
5. 作文トレーニング④簡潔な文、パネルディスカッション…討論		ディスカッションの資料収集と整理、作トレの予復習		4
6. 作文トレーニング⑤文の接続、パネルディスカッション…討論		ディスカッションのレポート作成、作トレの復習		4
7. 企画プレゼンコンテスト…準備		プレゼンのための資料収集・整理とスライド作成		4
8. 企画プレゼンコンテスト…準備		プレゼンのための資料収集・整理と原稿作成		4
9. 企画プレゼンコンテスト…発表		プレゼン改善策についての考察		4
10. 企画プレゼンコンテスト…発表、総括		プレゼンのレポート作成		4
11. ディベート (単独反駁形式) …準備		ディベートのための資料収集・整理と原稿執筆		4
12. ディベート (単独反駁形式) …準備		ディベートのための資料収集・整理と原稿執筆		4
13. ディベート (単独反駁形式) …試合		ディベート改善策についての考察		4
14. ディベート (単独反駁形式) …試合、総括		ディベートのレポート作成		4
15. 全体の総括		伝え合う力の自己診断と今後の課題の確認		4
自学自習時間合計				60
キーワード	表現力・書く・話す・ディスカッション・プレゼンテーション・ディベート			
教科書	「Sメソッドによる伝え合う力のトレーニング」(オリジナル教材) 及びプリント教材を配布			
参考書	「理工系の日本語作文トレーニング」(若林教著 朝倉書店)			
カリキュラム中の位置づけ				
前年度までの関連科目	なし			
現学年の関連科目	なし			
次年度以降の関連科目	なし			
連絡事項				
授業前半ではレポートや論文をわかりやすく正確に「書く」ためのトレーニングを、後半では研究発表や議論の場で論理的に説得力をもって「話す」ためのトレーニングを行います。「最後は表現力」とは多くの先輩たちから漏れ聞こえてくる言葉です。泳げるようになるには水の中に入って泳いでみるしかないように、表現力を養うには実際に表現してみるしかありません。「とりあえずやってみよう」という姿勢を持つだけで、自分の中に嬉しい変化が生じてきます。				
シラバス作成年月日	平成 27 年 2 月 25 日			